

地域の温かい心に支えられて

昨日、「夢のたまてばこ」の皆さんによるお話フェスティバルが行われました。メンバーの方にお話をうかがうと、毎年工夫をしながら行っているとのこと。ありがたいことです。絵本の読み聞かせだけでなく、映像のある読み聞かせや自然災害のお話ありと、学年に応じたメニューが考えてあり、子どもたちへの思いが伝わってきます。

学校は様々な人たちの善意で支えられています。子どもたちの登下校時には、ルックチルドレンのオレンジベストを着けた各地域のボランティアの方に子どもたちを見守っていただいています。今年度、羽合小学校運営協議会が新たに見守り隊を募ったところ、8名の方から応募があり、見守り活動に加わっていただきました。毎朝、自転車に乗って子どもたちの後に付き添って学校まで来てくださる方もおられます。また民生児童委員、更生保護女性会、日本赤十字の皆さんにも児童玄関前のあいさつ運動に、また、3年生の習字や、5年生の放課後学習にボランティアの方に入ってもらったり、家庭科のミシンや裁縫の学習では、ミシンの手入れや経験を生かした支援をしてもらったりと、学習面でもたくさん協力いただいています。

学校の環境整備では、ホエホエ隊の有志による草刈り作業、学校支援ボランティアの方に、入学式や卒業式の駐車場係など、多方面で学校を支える活動を行っていただいています。

地域の多くの方の温かい心に支えられている羽合小学校ですが、羽合地域の中にある小学校として、してもらえばかりではなく、今後自分たちが地域に何ができるか、何か貢献できることはないかを子どもたちと考え行動していきたいと思います。

そうじは「だ・い・じ」

そうじはいつも一生懸命する。子どもたちに大切にしてもらいたいことです。わずか10分のそうじ時間ですが、大切な学習の場です。そうじを通して子どもの姿が見えてきます。黙々とそうじをしている子どもの姿は、日々の学習の様子や心まで映しだします。そうじに頑張れる子は何でも頑張れる子だと思います。そうじは心を磨く場です。

「だまって・いっしょうけんめい・じかんいっぱい」の文字をとったそうじは「だいじ」。2学期の重点目標として「あいさつ」「話を聞く」そして「そうじ」を挙げ、全校で取り組んでいるところです。黙々と長い廊下のふき掃除をしている子、隅々までいねいにはき掃除をしている子など、頑張る姿が増えてきました。担当の場所を友だちと役割を分担し、協力して取り組んでいる様子は、これから先生活でも大切にしなければと感じます。毎日給食時には、あいさつとそうじに頑張っている人を紹介する放送があり、その発表があると教室から歓声が聞こえてきます。

働くことが人をつくる。子どもたちの将来を見据えたとき、10分のそうじ、だいじだなと思います。

